

Ⅱ 調査結果の概要

【概況】

平成28年度学校保健統計調査の結果は以下のとおりです。

1 滋賀県の傾向

身長および体重は、男子、女子ともに昭和30年以降増加傾向でしたが、平成に入ってから横ばいで推移しており、平成28年度も同様の傾向にあります。

2 身長および体重の全国順位と全国平均値との比較

身長は、男子は6歳、10歳、12歳および14歳～17歳で全国平均値を上回りました。女子は8歳および11歳～17歳で全国平均値を上回りました。都道府県別の全国順位は、年齢により1位から36位とばらつきがみられました。

体重は男子、女子ともにほとんどの年齢で全国平均値を下回り、都道府県別の全国順位でも下位の順位となりました。

(都道府県別の全国順位)

全国第1位・・・17歳男子身長

全国第3位・・・15歳女子身長、16歳女子身長、17歳女子身長

全国第46位・・・9歳男子体重

全国第47位・・・11歳男子体重、9歳女子体重、10歳女子体重、12歳女子体重

3 「親世代」の体格との比較

男子の身長および体重ならびに女子の身長は多くの年齢で「親世代」である30年前（昭和61年度調査）の県平均値を上回っていますが、女子の体重は多くの年齢で「親世代」の県平均値を下回っています。

「親世代」と体格差が最も開く年齢は、男子は身長が12歳、体重は15歳でいずれも「親世代」を上回っています。女子は身長、体重ともに11歳で「親世代」を上回っています。

4 主な疾病・異常の被患率等

幼稚園、小学校および中学校における「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、全国平均値を下回っています。

また、「眼の疾病・異常」、「耳疾患」、「鼻・副鼻腔疾患」、「せき柱・胸郭・四肢の状態」、「蛋白検出」および「ぜん息」の者の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回っていますが、「心電図異常」の者の割合は、全ての学校種別（調査対象となっていない幼稚園を除く。）で全国平均値を上回っています。

「むし歯（う歯）」の者の割合は、平成21年度からすべての学校種別で減少傾向にありましたが、今年度は幼稚園と小学校で微増となりました。